



スーパー グローバル ハイスクール



大阪府立千里高等学校
Osaka Prefectural Senri High School

ご挨拶

本校は、昭和42年に普通科高校としてスタートし、平成2年に国際教養科2学級を並置しました。平成17年の国際・科学高校への改編を機に、次にあげる指導法の研究開発に取り組みました。

- ① より多くの生徒が高い水準の国際性と語学力を獲得するための指導法
- ② 総合科学科における指導法
- ③ 文・理両方の学力と、それぞれの専門性を高めるための指導法

その中でこれまでの指導法を改良するとともに、スーパーサイエンスハイスクールをはじめ、国・府の研究指定等を積極的に活用し常に先進的な指導法の開発に取り組んできました。

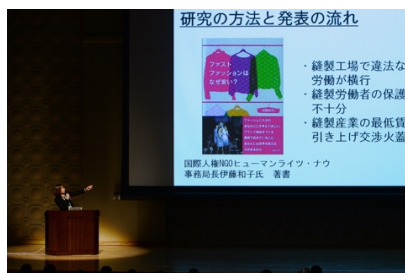
平成27年からはスーパーグローバルハイスクール(SGH)の研究指定をいただくことができました。将来のグローバル・リーダーを育成するため、本校は次にあげる教育課程・指導法を開発することとしました。

- ① 課題研究の研究領域として国連グローバル・コンパクトを取り上げるとともに、ステークホルダーがWin-Winの関係となるよう柔軟かつ創造的な提案を行える力を育むための教育課程
- ② 高い社会貢献意識と高いレベルのコミュニケーション・ツールとしての英語力を向上させるための指導法

課題研究の質を高めるための手法として、本校は、国連グローバル・コンパクトに参画する企業とNGOそれぞれの視点と取組みの比較、及び、目米の比較という枠組みを設定するとともに、課題研究の導入・展開・まとめの各段階において、連携機関より具体的な指導・助言をいただくよう工夫しました。また、国内外における研修の質が段階的に向上するよう計画を立てました。

このパンフレットには、研究開発の概要、主な取組み、生徒が作成した報告等を収めております。お時間が許しましたら、多くの皆さま方にご一読いただくとともに、ホームページ、発表会などをご覧いただき、忌憚のないご批判・ご意見をいただければ幸甚に存じます。

大阪府立千里高等学校長



全国SGH課題研究発表会での発表 (2017年3月)



1年国際理解特別授業でのグループワーク (6月)



夏季グローバルセミナーでの韓国国際学園訪問 (8月)



秋休み企業・大学訪問研修 (10月)



ニューヨーク研修 Eva Vega氏によるワークショップ (1月)



学習成果発表会千里フェスタでの発表 (2月)



研究開発構想名 | Title

| グローバル・マネジメント力を備えたリーダーの育成計画

目的 | Purpose

| 国際的な課題について、ステークホルダーがWin-Winの関係となるような提案を行う力であるグローバル・マネジメント力を備えたリーダーを育成するための教育課程の研究開発

目標 | Objectives

次のグローバル・マネジメント力を育成すること。

- ① 高い社会貢献意識
- ② 国際的課題についての多面的な視点と深い理解
- ③ 国際的課題について他者と連携・協調しつつ探究する力
- ④ ステークホルダーがWin-Winの関係となるよう柔軟かつ創造的な提案を行う力
- ⑤ 高いレベルのコミュニケーション・ツールとしての英語力

プログラムの概要 | Outline of Our Research Programs

1. 課題研究の研究領域として国連グローバル・コンパクト（以下、GC）の4分野(労働, 環境, 人権, 腐敗防止)を取り上げ、GC参画企業とNGOの取組の比較, 及び、GCの取組に係る日米比較という手法により多面的な視点を育むための指導法を研究開発する。
2. 国連・大学・企業・NGOと連携し、フィールドワーク等を通じ、研究者・実践家の生き方に直接触れることにより、高い社会貢献意識とGCに係る深い理解を育むとともに、高いレベルのコミュニケーション力としての英語力を向上させたための効果的な研修計画を研究開発する。
3. 生徒が互いに協力しながら連携機関等より適切に指導・支援を受け、必要な情報を収集・分析・整理する力を身につけることができる指導法を研究開発する。
4. 上記1~3を通じ、ステークホルダーがWin-Winの関係となるよう柔軟かつ創造的な提案を行える力を生徒に育むための教育課程を研究開発する。



連携機関 | Cooperating Organizations

アジア・太平洋人権情報センター

Asia-Pacific Human Rights Information Center

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

Global Compact Network Japan

大阪大学大学院国際公共政策研究科

Osaka School of International Public Policy, Osaka University

関西学院大学高大接続センター

Kwansei Gakuin University Center for Secondary and Higher Education Linkage

大阪府中小企業家同友会 (大阪北ブロック)

The Osaka Doyu-kai (The Association of Small Business Owners in Osaka)

名誉毀損防止組合 (ニューヨーク)

Anti-Defamation League

国際連合日本政府代表部

The Permanent Mission of Japan to the United Nations

各学年における目標と取り組み

1 学年 知識・スキルの習得

- ① 国際的課題およびグローバル・コンパクトについて理解。
- ② 大阪にあるグローバルをフィールドワークで体験。
- ③ 問題の多角的な理解をロールプレイで体験。
- ④ 資料・情報の正確な読み取り、事実に基づいた多角的な検討等、課題研究の基本スキルを習得。

2 学年 知識・スキルのレベルアップと提案 リーダー層の育成

- ① 講座に分かれ課題研究を本格スタート。課題を自ら設定し、ステップバイステップで研究を進める。大学院生による指導も。
- ② 連携大学による研修に希望者を派遣。
- ③ GC 参画企業・連携大学等により中間発表及び年度末校内発表に対して評価。
- ④ 地元企業における研修・取材に希望者を派遣。
- ⑤ ADL・米国企業等と連携し、ニューヨークでの研修・調査に希望者を派遣。
- ⑥ 希望者研修参加者中心にリーダー層を育成。
- ⑦ 大学等において発表・提案。

3 学年 英語による提案と発信

- ① グローバル課題について、英語で、調査・発表・多角的検討・合意形成を行うスキルをさらに高める。
- ② 大学、GC ネットワーク・ジャパン等において発表・提案。

2017(平成29)年度の指導の流れ



1学年 前期は、講演やフィールドワークを通してグローバル課題を導入、後期は、共同で調査・批判的思考・多角的検討をする能力を伸ばします。

6月

・「国際理解」特別授業(1)

『高校生の日常と国際的な課題のつながり～チョコレートと児童労働そしてSDGs』
松岡秀紀氏（アジア太平洋人権情報センター特任研究員）



7月

・SGHグローバル講演会

『人々のストーリーを描く～国際問題の研究者から高校1年生へのメッセージ』
猪口絢子氏（大阪大学大学院 国際公共政策研究科比較公共政策専攻博士前期課程2年）

8月

・夏季「グローバルセミナー」

『地元にあるグローバル課題と出会う講義とフィールドワーク』
とよなか国際交流センター・茨木モスク・コリア国際学園を訪問。最終日には国際人権とグローバルリーダーが持つべき資質について考えます。

9月

・「国際理解」特別授業(2)

『大阪・西淀川の公害はどう解決されたのか- ロールプレイで多角的に課題を見るトレーニング -』
栗本知子氏（公害地域再生センター）



10月

・企業・大学訪問研修

秋休みを利用し、グローバル課題に取り組む10企業1大学を訪問。

・「探究基礎」開講

「読み取る／調べる／比べる／討論する／解決する」を5ヶ月かけて、グループワークでトレーニング。



2月

・千里フェスタ基調講演

『iPS細胞の可能性～変異と遺伝病の治療～再生医療が人類に問いかけるもの』
原田直樹氏（京都大学iPS細胞研究所）



・千里フェスタ学習成果発表会

「探究基礎」の成果を代表の日本語ディベートとポスターで発表。





2学年

講座に分かれ社会課題について調査・研究し、解決策を見つける課題研究「探究」を中心に進めます。

5月

・課題研究「探究」開講 課題を知り、研究テーマを決め、調べ、比較し、提案を考え、発表する1年間がスタート。

9月

・「探究」講座内中間発表会

講座内で全員が発表し、評価し、代表を選出。代表の発表とコメンテーターによる助言を共有します。

8月

・大阪大学Future Global Leaders Camp

希望者が他校の高校生とともにグローバル課題に取り組む研究合宿に参加。



10月

・企業・大学訪問研修

課題研究に関する実情を知るため関連する10企業1大学を訪問。

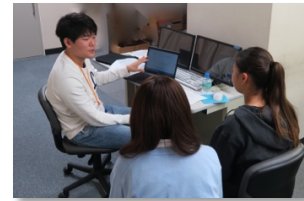
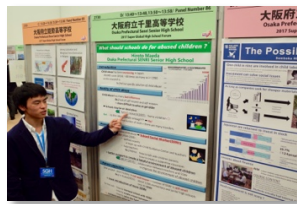
・大学院生による論文指導(1)

関西学院大学・大阪大学の大学院生から論文の個別指導を受けます。

11月

・SGH全国高校生フォーラム

代表が自分の課題研究を英語でポスター発表。



1月

・ニューヨーク研修

代表がADL・学校・民間企業・移民に関する博物館を訪問し、米国の多様性とその受容・活用への努力について研修。

・大学院生による論文指導(2)

論文の仕上げに向けてもう一度指導教員と大学院生から各自の論文にアドバイスをもらいます。



・課題研究「探究」講座内最終発表会

2月

・学習成果発表会「千里フェスタ」

「探究」の全研究を発表。



・課題研究「探究」の最終論文提出

一人あたり4000字の研究論文を仕上げて提出。

3月

・SGH全国課題研究発表会

関西学院大学で行われる大会で代表が発表。



3学年

社会問題について英語で対話できる力を伸ばします。

英語選択科目

「トピック・スタディズ」

「グローバル・スタディズ」

それぞれ模擬国連、Discussion Facilitation活動を最終目標に、高度な英語運用能力を身につけます。



受講者・参加者のレポートから(1)

1学年 国際理解 特別授業(1)

- “少しでも世界で起きている課題について考え、できることを積極的に始めようという気持ちになった。”
- “個人個人は世界規模の出来事とはあまり関係ないと思っていましたが、実はつながっているんだと思いました。”
- “どんな進路を選んでも（NGOとか国連とか直接そういうものじゃなくても）国際的な問題を解決していくための機会があるということがわかった。”



1学年 国際文化科講演会



- ““グローバル”な眼をもって世界中の先進国も途上国も、良い所も悪い所もたくさん学びたいと思いました。”
- “将来は国連など、国際公務員として働きたいと思っているから「大阪大学法学部国際公共政策研究科」という名前を覚えておきたい。”
- “私も猪口さんと同じようなことに興味があるので、猪口さんのように一つのことを研究したいと思いました。”

1学年 夏季Glocalフィールドワーク研修

- “ずっと世界のことにについては好きだったけど、今まであまり人権や、社会的に弱い立場となってしまう状況にある人々に目を向けたことがなかった。けれど、詳しく実際に体験した人や、活動に参加している人の話を聞いて、世界的な動きで人権をどんな人にも保障することが大切だと分かりました。”



2学年課題研究「探究」



- “根拠に基づいて自分たちの考えを展開する力が伸びたと思います。探究を通して社会的問題の背景を知れたので、もっといろいろな問題に目を向けて自分の考えを持てるようになりたいです。”
- “必要なデータを選びとる能力、自らの考えを論理立てて補強していく能力がついたと思った。また、自分たちが思いつくようなことはほとんど既に実施されているなあと考えた。”
- “中間発表のための論文づくり、大阪大学フューチャーグローバルリーダーズキャンプを通して、根拠となる情報源の集め方、論理的に考え、自分の論文に常に「なぜ？」と考え、筋が通った文章が書けるようになった。”

受講者・参加者のレポートから(2)

1,2学年 企業・大学訪問研修

“社内には、安心して気軽にお子さんを預けることのできる保育所もありました。また、他にもジムがあったりもして、社員さん誰もがのびのびと仕事に励める環境が素敵だなと思いました。部署が違って交流できる場づくりも大切だと学びました。

“海外インターンシップに行かれた社員方の経験談や、フランスから来ておられる社員の方のお話を聞くことができました。海外で働きたいとは思っていませんでしたが、お話を聞いて働きたいと思いました。



2学年ニューヨーク研修



“私たちが気づいていないだけでダイバーシティはたくさん存在しておりその存在を意識することが沢山のダイバーシティを受け入れていくことに繋がることが分かりました。Eva Vegaさんの「違いはただの違い、他の何ものでもない。」という言葉がとても印象的で、皆がすこしやすくなる環境にしていくのも私たちの責任だなと感じました。(表紙の写真は参加生徒が書いた帰国後のアクションプランです。)

“見学した学校タウンスクールでは、今の日本の教育方法をもっと充実させるためのヒントをたくさん見つけることが出来ました。自分たちの身の回りには、様々な人種やアイデンティティを持った人がいることや、性についてのとらえ方、また、環境やアートなどたくさんの分野を、テクノロジーや工夫された道具、おもちゃを駆使しながら子供たちに自然に考えさせ、学ばせていくこの学校は、子供たちが人との“違い”を認め合える力をつけるのにものすごく適した環境だなと思いました。

大阪府立千里高等学校SGHサイト

<http://www.osaka-c.ed.jp/senri/sgh/index.html>

Visit
our
website!



大阪府立千里高等学校

〒565-0861 吹田市高野台2-17-1

TEL 06-6871-0050

FAX 06-6871-2587

E-mail senri-hs@sbox.pref.osaka.lg.jp

発行：平成30(2018)年3月

UD FONT